

【 主 の 晩 餐 】

+これは《最後の晩餐》

入祭唱

万軍の主はこの山で祝宴を開き
すべての民に良い肉と古い酒を供される。
主はこの山ですべての民の顔を包んでいた布と
すべての国を覆っていた布を滅ぼし、
死を永久に滅ぼしてください。
この方こそわたしたちが待ち望んでいた主。
その救いを祝って喜び躍ろう。

(イザヤ 25:6-9 抜粋)

* パンとぶどう酒が祭壇に運ばれてきます。

会衆はお立ち下さい。讃美歌 315 番を賛美します。

- ・浮き世のあらなみ 逃れてやすらう 静けき港は 恵みの御座なり。
- ・いともかぐわしき 喜びの油 かしらに受けまし 恵みの御座にて。
- ・住家をへだつる 主にある御民も 共にこそ遭わめ 恵みの御座にて。
- ・切なる祈りに あめの戸ひらけて 輝くみ栄え 御座の上に見ゆ。

* 奉納祈願 (下/祭壇に向って)

～この献げものを 全能の神である父が受け入れて下さるよう 祈りましょう。

(黙禱)

主神よ、あなたは万物の造り主、
ここに供えるパンとぶどう酒は あなたからいただいたもの、
大地の恵み、労働の実り、
わたしたちの いのちの糧となるものです。
このパンとぶどう酒の神秘によってわたしたちが、
人となられた方の 神性にあずかることができますように。
神よ、悔い改めるわたしたちを、
きょう み心に適ういけにえとして 受け入れてください。

—教会暦による《奉納祈願》

慈しみ深い神よ、
御ひとり子の受難によって、私たちをおゆるしてください。
私たちの力では得ることのできないこの恵みを、

十字架のいけにえによって

豊かにいただくことができますように。

私たちの主イエス・キリストによって祈ります。アーメン。

*奉 献 文

① 叙 唱 ～心を込めて神を仰ぎ、賛美と感謝を捧げましょう。(教会暦によって変更)

#聖なる父、全能、永遠の神、

主キリストによって

いつもあなたを讃え 感謝の祈りをささげます。

罪のないキリストは苦しみを担い、

罪人に代わってさばきを受けて下さいました。

キリストの死は罪を清め、

その復活はわたしたちの救いをもたらしました。

天も地もすべての天使と共に、

キリストをたたえて 絶え間なく歌います。

(一 同) 聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな 万軍の神なる主。

主の栄光は全地に満つ。

いと高き所にいます 主なるあなたに栄光。

ほむべきかな 主のみ名によって来たるもの。

いと高き所に、ホサナ。

*上段へ移動

② 聖別の祈り (上/会衆と対面して) (ささげものの上に手を延べて唱える)

#父よ、聖霊がこの献げ物を貴いものにして下さいますように。

(手を合わせる)

#キリストが永遠の契約として私たちに残された

この偉大な神秘を祝うために、

(パンと杯の上に十字架のしるしをしながら唱える)

主イエス・キリストの御からだと 御血になりますように。

アーメン。

③ 制 定 語

わたしは、主から受けたことを、また、あなたがたに伝えたのである。
すなわち、主イエスは、渡される夜、

(パンを手にとって続ける)

パンをとり、感謝してこれを裂き、そして言われた。

(少し頭を下げて唱える)

「これは、あなたがたのための、わたしの体である。
わたしを記念するために、このように行いなさい。」

(聖別されたパンを会衆に示した後、皿の上に置き、合唱して深く礼をする)

食事ののち、

(杯を手にとって続ける)

杯をも同じようにして言われた。

(少し頭を下げて唱える)

「この杯は、わたしの血による新しい契約である。
飲む度に、わたしの記念として、このように行いなさい。」

(杯を会衆に示し、皿の上に置き、合唱して深く礼をする)

信仰の神秘

(一 同) 主の死を思い、復活をたたえよう、主が来られるまで。

* 下段へ移動

* 記念と奉獻 (アナムネシス)

聖なる父よ、私たちはいま、ここに、贖いの記念をともに行い、
キリストの死と 陰府に下られたことを思い起こし、
その復活と あなたの右に上げられたことを宣言し、
栄光のうちに来られることを待ち望んで、全世界の救いとなる

この生け贄 御からだと御血をあなたにささげます。

*聖霊を求める祈り（エピクレシス／手を合わせ、頭を下げて続ける）

＃あなたが教会にお与えになった この生け贄を顧み、

一つのパンを分ち合う すべての人を、

聖霊によって一つのからだに集めて下さい。

キリストの内において あなたの栄光を称えるための

まことの献げ物になりますように。

*死者のための祈り

＃父よ、すべての人を心に留めてください。

その人々のために 私たちはこの供え物をささげます。

あなたのすべての民と、あなたを求めるすべての人、

また、キリストの平和のうちに亡くなった人々、

あなただけがその信仰を知っておられる

すべての死者を心に留めてください。

-今週の召天者記念-

特に、今週、召天記念日を迎えられる

丸山ヨシさん

谷内鋼二さん

土合幸子さん

吉川ハツエさん

杉田瑞子さん

珍田千代野さん

設楽省一郎さん

そして震災で亡くなられたすべての魂に平安を与え、

彼らが昼も夜もあなたを誉め讃える天使たちのように

今も、後も、とこしえに生きることを信じる信仰をお与えください。

慈しみ深い父よ、あなたの子である 私たちすべてが、

あなたの国で約束された命に与かり、

あらゆる天の恵みと祝福に満たされますように。

*栄唱（一 同）

キリストによって、キリストと共に、キリストのうちに、

聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、

全ての誉れと栄光が、世々限りなくありますように。アーメン。

④ 交わりの儀

主の教えを守り、み言葉に従い、つつしんで主の祈りを唱えましょう。

天にまします 我らの父よ、願はくは み名を崇めさせたまへ。

み国を来たせたまへ。みこころの天になる如く地にもなせたまへ。

我らの日用の糧を今日も与へたまへ。

我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまへ。

我らを試みにあはせず、悪より救ひ出したまへ。

国と力と栄えとは限りなく汝のものなればなり。アーメン。

* 上段へ移動

* 平和のあいさつ（上／会衆と対面して）

甦られた主イエスは、戸が閉め切られた部屋に入り、弟子たちに、手と脇腹とをお見せになり、「あなたがたに平和があるように」と言われ、また、息を吹きかけてこう言われました。

「聖霊を受けよ。あなたがたがゆるす罪は、だれの罪でもゆるされ、あなたがたがゆるさずにおく罪は、そのまま残るであろう。」

復活者キリストのご委託に応え、罪の赦しのしるしとして、互いに平和の挨拶を交わしましょう。（合唱して「主の平和」と唱え、一礼する）

* パン裂き（牧師はパンの一片と杯を取り、祈る）

今ここに、一つとなる主イエス・キリストのからだと血によって、私たちが永遠の命に導かれますように。

マラナ・タ！（主よ、来たりませ）。アーメン。

陪餐（これより陪餐に移ります）

神のみ前で、

天上のもの、地上のもの、地下のものすべてと共に、

主の食卓の交わりに与りましょう。

（以下より、一つを選ぶ）

* 今日、あなたたちの神、主にささげられた聖なる日だ。

嘆いたり、泣いたりしてはならない。

主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。

* 奉仕者の陪餐

#まず初めに、奉仕者が聖餐に与ります。その間、
会衆は『主よ、憐れみ給え（キリエ・エレイソン）』と祈りつつ、
沈黙のうちにお過ごしください。

会衆の陪餐（下／会衆に向かって）

これより会衆の陪餐に移ります。前列の方より、中央の通路から「恵みの座」に進み出て、“跪いて”聖餐に与ります。合図とともに立ち上がり、左右の通路から御自分の席にお戻り下さい。

恵みの座に至る中央の通路は、主が十字架へと歩まれた《ピアドロロサ（悲しみの道）》であり、教会が再臨の主と出会う《バージンロード（歓喜の道）》です。この道を通して永遠の命に導かれたいと思います。

聖餐に与る間、讚美歌第二編1番1節をくり返し賛美します。最後の組が聖餐に与りましたら、4節の歌詞で賛美します。

それでは係りの者の指示に従い、順次、恵みの座にお進みください。

*感謝の祈り、逝去者との共同記念（下／祭壇に向かって）

#主よ、今こそ、あなたはみ言葉のとおり、
この僕を安らかに去らせてくださいます。
わたしの目が今あなたの救いを見たのですから。

—「拝領祈願」—

命の源である父よ、一つのパン、一つの杯にあずかった
私たちがキリストのうちに一つに結ばれ、
救いの喜びを世に伝えるものとなりますように。
私たちの主イエス・キリストによって祈ります。アーメン。